

公益社団法人 日本臨床細胞学会
平成 28 年度(2016 年度)第 1 回理事会議事録

日 時：平成 28 年（2016 年）4 月 30 日(土) 10 時 00 分～13 時 00 分

場 所：日本臨床細胞学会事務局会議室（地下 2 階）

役員総数： 40 名（理事 40 名，監事 3 名）

出席総数：理事 37 名，監事 3 名

（理事長）青木大輔（副理事長）紀川純三，越川卓，植田政嗣，佐藤之俊（理事）池田徳彦，石井保吉，伊藤仁，稲山嘉明，井上健，榎本隆之，岡本愛光，小田瑞恵，落合和彦，加来恒壽，加藤久盛，河原栄，川本雅司，小西登，小松京子，齋藤豪，白石泰三，竹島信宏，寺本勝寛，内藤善哉，長尾俊孝，羽場礼次，平井康夫，広岡保明，藤井多久磨，前田一郎，森井英一，森谷卓也，八重樫伸生，山城勝重，横山繁生，横山正俊

（監事）長村義之，佐々木寛，長谷川壽彦

（総務委員会幹事）柿沼廣邦，垣花昌俊，所嘉朗，富永英一郎，星利良，町田知久，丸田淳子，山下博

（細胞診専門医会会長）土屋眞一

（制度審議委員陪席）平田哲士

（平成28年度総会議長）長谷川清志

（会計士）中田ちず子

欠席者：（理事）伊藤潔，生水真紀夫，中村直哉

（制度審議委員陪席）北村隆司

議長選出の議：本学会定款第 33 条に則り，池田徳彦総務委員長が議長となった。

議長は定款第 34 条に則って，理事総数の過半数(37 名)の出席により定数を満たしたので本法人の理事会が成立した旨を述べた。

議事録署名人選出：定款 35 条に則り，議事録署名人は理事長並びに監事 3 名とすることが確認された。

理事長挨拶：青木大輔

理事会議事録案確認(平成 27 年度第 4 回理事会)：前理事会の議事録案が確認された。

1. 理事長報告：青木大輔

平成 28 年度の最初の理事会である。本日の理事会は総会での審議が円滑に進むように議

案となる平成 27 年度の決算案と事業計画報告案などの総会関連事項を承認して頂く重要な理事会である。是非、先生方に多数のご提案，詳細な審議をして頂き，総会の関連事項を承認して頂きたい。また，本日の理事会が終わった段階で全会員に総会の内容をお知らせする作業を行う。議決内容の決定については，委任状を含めた出席過半数の会員の意向を頂かなければいけないため，是非，先生方にもご協力頂きたい。本日は，総会の議長をお願いした 獨協医科大学 長谷川清志先生にご陪席頂いている。よろしくお願ひ致します。

今月末，5 月 28-29 日は第 57 回日本臨床細胞学会春期大会 (JSCC)，5 月 29-6 月 1 日は The 19th International Congress of Cytology (ICC2016) を開催する。29 日は JSCC，ICC2016 が同時開催となり，JSCC にご参加される皆様には若干のご不自由があると思うが，Congress president dinner などの外国の先生方と一緒に楽しめる企画を準備しており，多数の先生方にご参加頂けることを期待している。

2. 副理事長報告

紀川純三：学術，編集，国際交流，IAC を担当する。学術担当として学術集会のあり方を検討する。専門医機構の指針に伴い，種々のセミナーや専門医に関する必須の課目が出てきており，春・秋の学術集会について効率的な学術運営が必要となってきた。内藤学術委員長にお願いし，学術委員会内にワーキンググループを設置し，学術集会のあり方を検討していくことが決定した。その詳細については，今後，順次行っていく予定である。

越川 卓：認定試験，検査士，教育を担当する。担当する各委員会の平成 28 年度の事業については例年どおり順調に進んでおり，その事業内容については各委員会委員長より報告して頂く。本年度の特別事業として 5 月末の国際細胞学会 (ICC2016) 中に CT (IAC) および cytopathologist 資格認定試験が行われる。現在その準備を進めている。

植田政嗣：専門医制度，専門医を担当する。日本専門医機構の指針に従い細胞診専門医制度の改革・推進を行っている。細胞診専門医資格更新制度と教育指導医認定制度の施行細則案が理事会にて承認され，今後はそれに沿って順次進めていく。本年度は本学会がサブスペシャリティ学会として日本専門医機構に認証されることを第一目標としている。日本専門医機構よりサブスペシャリティ学会に向けた専門医研修プログラム整備基準についての正式な発表はまだないが，基本領域に準じたものであると推測される。これを基に，細胞診専門医会の細胞診専門医あり方委員会 森井副委員長のご尽力により専門医研修モデルプログラム案を作成中である。今後も様々な情報を得るようにし，迅速に対応できるように準備をしていきたいと思う。青木理事長の御高配にて，本年度の春期大会にて細胞診専門医制度に関するシンポジウムを行う。細胞診専門医の現状と今後の展開について臨床・病理の両面から

討議し、方針を固めて頂けることを期待している。また、より多くの全国の細胞診専門医の先生に周知徹底して頂きたく、先般に専門医全員に通達した春の専門医会のお知らせの中に、専門医制度の今後の推移についてと、佐藤副理事長の御高配により細胞診専門医会報 52 号中に新研修医制度の詳細を記載させて頂いたことをアナウンスした。

佐藤之俊：総括、財務、渉外を担当する。予算・事業報告に関しては、学会の財務状況が厳しい状況にあるため、適正な事業が適正に進められるよう、皆様にご協力頂きたい。また、本年度は評議員の改選の年となる。先般、4月22日を締め切りとし、評議員申請を行ってきた。しかし、熊本を中心とする大震災の影響、宣伝不足による会員への周知徹底が出来なかった等々の理由より、評議員の申請者数が施行細則に則った基準の評議員定員数に満たなかった。このため、青木理事長と相談し、今後の種々の学会業務の遂行に支障をきたす可能性が高いと判断し、評議員申請の期限を4月28日まで延長した。申請締め切り後の現在、総計499名の申請があり、予定の評議員定員数である455名を上回り、今後は粛々と評議員の選考作業を続ける。

3. The 19th International Congress of Cytology (略称：ICC2016) 準備状況：(青木大輔理事長)

会期：2016年5月28日(土)～6月1日(水)(5日間)

場所：神奈川 パシフィコ横浜

4. 第57回平成28年(2016年)春期大会準備状況：(青木大輔理事長)

会期：2016年5月27日(金)、28日(土)、29日(日)

場所：神奈川 パシフィコ横浜

第19回 IAC 国際細胞学会(ICC2016)と合同開催

5. 第55回平成28年(2016年)秋期大会準備状況：(横山繁生理事)

会期：2016年11月18日(金)、19日(土)

場所：大分 B-ConPlaza (別府国際コンベンションセンター)

6. 第58回平成29年(2017年)春期大会準備状況：(植田政嗣副理事長)

会期：2017年5月26日(金)、27日(土)、28日(日)

場所：大阪 大阪国際会議場

7. 第56回平成29年(2017年)秋期大会準備状況：(加来恒壽理事)

会期：2017年11月18日(土)、19日(日)

場所：福岡 福岡国際会議場

8. 各種委員会での議事の経過概要および議決結果

総務委員会(委員長 池田 徳彦)

[事業報告・報告事項]

1. 常務理事会, 理事会, および総会の運営実務を担当した.
2. 規程に則り平成 28 年度の会費請求を行った.
3. 資料に沿って総会の議事次第が説明された.

[審議事項]

1. マイナンバー制度への対応
資料に沿ってマイナンバー外部委託会社の見積一覧が提示され, 今年度の確定申告よりマイナンバーが必要であるため, 委託会社の決定は理事長・副理事長・計理委員会・総務委員会に一任することが承認された.
2. 大会長への感謝状授与について
総会時の春期大会長への感謝状は通常は理事長から授与されるが, 今回の大会長は青木理事長であるため, 前理事長の佐々木寛先生が感謝状を授与することが提案され, 承認された.
3. 大会場における会員カードまたはシールの再発行ブース設置について
本年度春期大会において細胞検査士のクレジットが25点, 50点, 75点の3種類と複雑であり, 前年度より行っている受付方法では煩雑となることが予想される. このため, 細胞検査士の受付方法を「会員カード」または「検査士カード」のバーコード読み取りに変更すること, 紛失された検査士のために再発行ブース設置することが提案され, 承認された.

情報処理委員会 (委員長 伊藤 仁)

[事業報告・報告事項]

1. 学会ホームページの全面的な改修は, 春期大会(5月2週目)までに完了予定で進めている.
2. その他
 - ・2016年4月7日現在のマイページログイン率
医師:35.24% 技師(正会員):48.62% 技師(準会員):42.49%
名誉会員:25.00% 功労会員:30.00% 合計:40.10%

[審議事項]

特になし

学術委員会 (委員長 内藤 善哉)

[事業報告・報告事項]

1. 学会賞・技師賞・班研究課題の応募について, ホームページ及びイエローページに掲載した.
 - ・学会賞・技師賞・班研究課題の新申請書を作成, チェックリストを新たに追加した.
2. 最優秀論文賞の選考を規定に則り行った. 応募数は和文1名, 英文6名であった.

選考結果報告

1) 和文：該当者なし

2) 英文：神戸大学医学部附属病院病理診断科 川上 史

論文名 Cytologic Features of Gastric-Type Adenocarcinoma of the Uterine Cervix.

3. 各種選考に際し、規定以外に選考方法に関する具体的な内規を作成中である。
4. 学術集会のあり方を検討するワーキンググループを学術委員会内に設置する。
5. 国際病理アカデミーから学術委員の推薦依頼があり、本学会からは中村直哉理事を推薦した。
6. 春期大会・秋期大会の学術集会運営要項の作成することが決定し、その方向性で進んでいる。

〔審議事項〕

特になし

計理委員会（委員長 岡本 愛光）

〔事業計画・報告事項〕

1. 平成 27 年度日本臨床細胞学会監査会について
2016 年 4 月 15 日(金) 計理委員長, 理事長, 監事, 中田ちず子会計士のもと監査会が行われ, 日本臨床細胞学会の会計について適正に運用されていることが確認された。
2. 平成 27 年度収支概要について
繰越金額は 11,476,374 円となり全体的には黒字であるが, 日本臨床細胞学会・細胞診専門医会・細胞検査士会を単体で見ると日本臨床細胞学会が-4,842,683 円の赤字となった。
支出面では, ICC2016 開催のため, 積立していた 2,000 万円の負担があったが, 収入面で, 医歯薬出版株式会社(細胞検査士細胞像試験問題集), 金原出版株式会社より印税が入ったこと, また春期大会・秋期大会より大会戻し金が多く戻ってきたことで赤字幅が少なくなっている。
赤字対策として今後支出および事業運営を見直し, 学会の運営が正常になるよう対策を考えていきたい。
3. 経理基準の作成について
現在, 会計運用に関する計理基準がなく, NPO 法人からの作業に合わせて会計運営を続けている。公益社団法人になり運用の根拠をはっきりさせるために, 経理基準を作成し, 平成 28 年度の予算案より新规定に合わせて正常な運営が出来るように準備していく予定である。

〔審議事項〕

1. 職員の退職金規定の作成について

経理基準について、まず職員の退職金規定を作成することが提案され承認された。次回の理事会までに計理委員会にて退職金規定案を作成し、次回理事会の審議事項とすることが決定した。

2. 平成 27 年度決算案および事業報告について

平成 27 年度決算案および事業報告については、3. 審議事項にて審議する。

編集委員会（委員長 竹島 信宏）

[事業報告・報告事項]

1. 2016 年日本臨床細胞学会雑誌 55 巻 1 号・2 号の発刊.
2. 評議員申請における査読義務に伴い, Editorial Manager へ登録人数の上限の確認.
3. 2016 年投稿論文
新規 : 2 件
採択率 : 6.9 パーセント

[審議事項]

1. 図書館員と Acta Cytologica への編集委員会の提案
全図書館員に本学会誌のパスワードを教えることが編集委員会内にて審議・決定したとの報告があり, 承認された. また, ActaCytologica の日本代理店である KARGAR 社から提案された優先レートでの購買促進について, 編集委員会内にて審議・決定したとの報告があり, 承認された.

細胞診専門医委員会（委員長 齋藤 豪）

[事業報告・報告事項]

1. 平成 28 年度細胞診専門医資格認定試験
平成 28 年 11 月 27 日(日)に「AP 浜松町」で施行予定. 筆記試験問題 25 問, 細胞像試験(カラープリント)問題 25 問の 50 問(50 点)とガラス鏡検問題 50 点の合計 100 点. 医師は全て総合科に統一. 歯科医師はガラス鏡検問題のみ歯科口腔領域を選択. 昨年に引き続き, マークシート方式を採用.
2. 平成 28 年度細胞診専門医資格更新
平成 28 年度細胞診専門医資格更新対象者ナンバーは, 774-899, 1171-1241, 1447-1509, 1711-1797, 2160-2274, 2578-2672, 2962-3051, および歯科医師会員 8001-8017. 細胞診専門医会出席義務廃止, クレジット重視, 本法人学術集会(春期・秋期)2 回以上出席要, 次回更新は 5 年後.
3. 新規セミナー・ワークショップ等の企画
4. 更新期間変更にともない更新料の変更

[審議事項]

植田副理事長より, 指定講習会・セミナーに参加できなかった際の e-learning での DVD

研修の設問・回答作成委員会を細胞診専門医委員会内に設置し、早急に問題・回答の作成を進めて欲しいとの要望があった。

施設認定制度委員会（委員長 長尾 俊孝）

〔事業報告・報告事項〕

1. 平成 27 年度認定施設年報提出依頼(締切 2016 年 3 月 31 日)
2. 平成 27 年度教育研修施設年報提出依頼(締切 2016 年 6 月 30 日)
3. 平成 28 年度認定施設更新作業. 対象施設 59 施設. 事務局にて更新作業中.
4. 平成 27 年度認定施設新規申請募集実施. 申請施設 7 施設. 当該委員会にて申請内容を審査し認定を決定する予定.
5. 平成 28 年度教育研修施設更新作業. 対象施設 6 施設. 更新案内送付済.
6. 平成 28 年度教育研修施設新規申請募集. 締め切り後, 当該委員会にて申請内容を審査し認定を決定する予定.
7. 外部精度管理(コントロールサーベイ)は外部精度管理ワーキンググループの下で, 問題作成委員会を 7 月末に開催し 2016 年秋に実施予定.
8. 内部精度管理(実地調査)は内部精度管理ワーキンググループの下で, 新規認定施設および年報未提出施設などから 3 ないし 4 施設を選択し, 2016 年 9 月頃実地調査を行う予定。結果は理事会にて報告予定.
9. 平成 26 年度の年報集計結果をホームページ上に掲載済み.

〔審議事項〕

1. 施行細則と申し合わせ事項の変更について
資料に沿って施設認定に関する施行細則の改定案が提示され, 施設認定・教育研修施設認定とも認定期間を 5 年とすることが提案され, 承認された。施行細則は, 本日一部改定とし, 平成 28 年度の新規および更新施設より開始することとなった。また, 申し合わせ事項として, 施設認定・教育研修施設認定とも年報の記載期間を 1 月 1 日~12 月 31 日に統一すること, 新規申請の締め切り期間を 3 月 31 日に統一することが承認され, 平成 29 年度以降の新規および更新申請施設より開始することとなった。なお, 更新料については教育研修認定施設からも徴収する方向性は承認されたが, 開始時期, 金額等の詳細については今後の検討事項となった。
2. 施設認定および教育研修施設認定の年度数について
新規申請の年度数について, 以前は施設認定の場合は申請年度の前年度分(平成 28 年度申請であれば平成 27 年度分)と, 教育施設認定の場合は申請年度分(平成 28 年度であれば平成 28 年度分)とされていたが, いずれも申請年度分として統一することが確認された。

細胞検査士委員会（委員長 加藤 久盛）

〔事業報告・報告事項〕

1. 2016年CT(IAC)資格認定試験
2016年5月28日(土)にパシフィコ横浜において実施する。
2. 平成28年度(第49回)細胞検査士資格認定試験
1次試験は2016年10月29日(土)にCIVI研修センター新大阪東において実施予定。
2次試験は2016年12月10・11日(土・日)に東京富士大学において実施予定。

〔審議事項〕

1. 細胞診検査士資格更新に伴う更新手数料の変更について
資料に沿って、細胞検査士の資格更新期間が4年から5年に変わることに伴い、更新手数料を現行の3240円から4500円に変更することが提案され、承認された。また、更新手数料の変更は今年度より開始することが確認された。
2. 大会時の細胞検査士の受付の変更について
大会受付時の簡略化のため、本年度の春期大会に準じて細胞検査士の受付方法を「会員カード」または「検査士カード」のバーコード読み取りに変更すること、紛失された検査士のために再発行ブース設置し有料にて提供すること、当日カードを忘れた検査士は手書きでの登録を行うことが提案され、承認された。

細胞検査士資格更新審査委員会（委員長 羽場 礼次）

〔事業報告・報告事項〕

1. 平成27年度 細胞検査士資格更新者(ピンク・カード)
全更新対象者数：1507人
更新完了者：1418人(94.1%) 条件付き更新完了者：23人 保留更新者：3名
未申請：10人 更新辞退・退会者：31人 資格失効：1人
更新未完了者：19人(再提出・未入金等) 宛名不明：2人
2. 平成28年度 細胞検査士資格更新対象者メンバー(グリーン・カード)
0138～0194, 0364～0439, 0760～0912, 1147～1353, 2068～2258, 2913～3119,
3932～4209, 4942～5134, 5813～6050, 6574～6748, 7450～7685, 8318～8612
更新予定者：1819人
※ 2017年2～3月に更新審査予定
3. 細胞検査士の地域連携組織への所属状況について
委員会内調査より、99.3%の細胞検査士は各地域連携組織へ所属していることが報告された。

〔審議事項〕

特になし

教育委員会（委員長 八重樫 伸生）

〔事業報告・報告事項〕

1. 平成 28 年度決定済みの予定

講習会	開催日	開催地・実施委員長
第 125 回細胞検査士養成講習会	2016 年 7 月 4-16 日	東京医学技術専門学校：東海大学医学部・伊藤 仁
第 41 回細胞診断学セミナー	2016 年 8 月 4-7 日	東京医学技術専門学校・教育委員長
第 71 回細胞検査士教育セミナー	2016 年 8 月 27-28 日	日本教育会館：片山 博徳
第 72 回細胞検査士教育セミナー	2016 年 9 月 10-11 日	松下 IMP ホール：矢羽田 一信
第 72 回細胞検査士ワークショップ	2016 年 7 月 23-24 日	札幌医科大学：田上 稔
第 73 回細胞検査士ワークショップ	2017 年 2 月または 3 月の 土日	会場未定：平田 哲士

2. 現在, セミナー・ワークショップの原価計算を行っており, その結果, 適正な受講料案が事務局より提出される予定である.

〔審議事項〕

特になし

渉外・広報委員会（委員長 加来 恒壽）

〔事業報告・報告事項〕

1. 医療関連サービス振興会(本委員会の委員長は振興会の副委員長)の年 2 回の会議に出席し, 全国の検査施設の病理組織診・細胞診が欠陥無く行われているかをチェックした.
2. 日本がん治療認定医機構の関連学会連絡委員会に出席し, 学会として求められた対応を行うとともに情報の収取・共有に努めた.
3. 日本臨床検査標準協議会に出席し, 学会として求められた対応を行うとともに情報の収取・共有に努めた.
4. 衛生検査所調査指導中央委員会に出席し, 学会として求められた対応を行うとともに情報の収取・共有に努めた.

〔審議事項〕

青木理事長より, 学会員への施設認定や細胞検査士のバーコード再発行などの広報を徹底化するため, ホームページに up-to-date された情報について加来委員長を通じて会員に一斉メール送信する広報システムを構築して欲しいとの要望があった.

社会保険委員会（委員長 稲山 嘉明）

〔事業報告・報告事項〕

1. 平成 28 年度診療報酬改正の総括
 - *セルフブロック法が N004 細胞診の項目に掲載された(860 点). ただし, 悪性中皮腫を疑う場合に限定されている.
 - *細胞診として扱われているので, 現状ではこれを用いた免疫染色は不可と思われる.
2. 平成 30 年度改正にむけた要望の検討に入る. 具体的には, 委員会開催, メール審議, 必要に応じてアンケート調査, 関連学会等との話し合い, 内保連出席など.

〔審議事項〕

特になし

地域連絡委員会（委員長 広岡 保明）

〔事業報告・報告事項〕

1. 平成 26 年度支部・連合会活動報告および定点観測について
現在集計中である. 活動報告は, 第 57 回日本臨床細胞学会総会(春期大会)中に開催される全国地域代表者会議で報告する予定である.
2. 「子宮の日」の子宮頸がん検診推進活動支援について
 - (1) 平成 28 年度の助成金申請書の受付を 3 月 31 日締切で行った.
43 地域学会より申請があり, 申請があった地域学会に「成果報告書」の提出をお願いした.
 - (2) 平成 27 年度の子宮の日の成果報告が 39 地域学会よりあった. イエローページに成果報告一覧として掲載予定である.

〔審議事項〕

1. 定点観測に関する今後の方針について
定点観測については, 第 57 回日本臨床細胞学会総会(春期大会)中に開催される全国地域代表者会議にて審議し, 活用していないようであれば廃止する方向性が提案され, 承認された. また, 過去の定点観測報告については論文化などで記録に残す方向性が示された.

国際交流委員会（委員長 森谷 卓也）

〔事業報告・報告事項〕

1. 2 国間交流
 - 1) 第 6 回日中細胞診合同会議は開催に向けて日程等調整中.
 - 2) 第 15 回日韓細胞診合同会議
開催日 : 2016 年 10 月 29 日(土)
開催地 : 韓国・済州島(Jeju Hyatt Hotel)

(本年は韓国細胞診の30周年にあたり、行事が催される予定)
(2017年以降は毎年9月第1週金曜日・土曜日に開催の予定)

2. 国際・アジアフォーラム

1) 第57回日本臨床細胞学会総会・春期大会(会長 青木大輔)

開催日：2016年5月28日(土)-29日(日)

開催地：横浜

国際・アジアフォーラム(Global Asia Forum)

担当：榎本委員, 宮城先生

2) 第55回日本臨床細胞学会秋期大会(会長 横山繁生)

開催日：2016年11月18日(金)-19日(土)

開催地：別府

国際・アジアフォーラム(Global Asia Forum)

担当：南部委員, 小林先生

[審議事項]

長村監事より、以前から行っている Australian society of cytology (ASC) との人事交流について検討して欲しいとの要望があった。

制度審議委員会 (委員長 川本 雅司)

[事業報告・報告事項]

1. 理事会, 総会承認に基づく定款, 細則改定の実施
2. 各委員会内規の把握とりまとめの実施
3. 評議員申請時の業績点数の解釈を統一するため、『評議員選任に関する施行細則』改定作業を開始した。

[審議事項]

1. 施設認定についての施行細則と申し合わせ事項の変更について
施設認定制度委員会の項 審議事項 1 と同様。

医療安全委員会 (委員長 森井 英一)

[事業報告・報告事項]

1. 医療安全セミナーの開催
第57回(2016年)春期大会および第55回秋期大会において医療安全セミナーを開催する。第57回総会では「臨床細胞検査等における医療安全について」を行う。
2. 第55回秋期大会では, 医療安全セミナーとともに, 医療安全の観点から特に重要な感染対策についてのセミナーも開催する。
3. 専門医機構の要求に沿い, 倫理的な観点からの指定講座について現在協議中である。
4. MSC ホットラインを継続する。利用実績が乏しいので周知を図るよう努力する。

[審議事項]

特になし

倫理委員会 (委員長 河原 栄)

[事業報告・報告事項]

1. 各大会中に倫理にかかわる教育セミナーの実施.
2. 第57回(2016年)春期大会にて, 倫理委員会指定セミナーとして黒木登志夫先生による「研究不正—その実態と背景、対策について—」を企画.

[審議事項]

1. 委員会開催時における外部委員の日当と交通費について(臨床試験審査委員会との合同提案)
前理事会にて提案された委員会開催時における外部委員の日当と交通費の支出基準について, 日当は半日2万円とすること, 交通費は本学会の旅費規程に従うことが池田総務委員長より提案され, 承認された.

利益相反委員会 (委員長 藤井 多久磨)

[事業報告・報告事項]

1. COI 自己申告書・COI に関わる指針・細則の改定
2. 利益相反自己申告書の提出のスケジュール化
3. 利益相反自己申告書の送付と未提出者報告

[審議事項]

特になし

臨床試験審査委員会 (委員長代理 河原 栄理事)

[事業計画・報告事項]

1. 臨床試験審査を随時行っていく.

[審議事項]

1. 委員会開催時における外部委員の日当と交通費について
倫理委員会の項 審議事項 1 と同様.

IAC 連絡委員会 (委員長 長村 義之)

[事業報告・報告事項]

1. The 19th International Congress of Cytology(略称: ICC2016)開催前日, 5月28日(土)12:00~17:00でIAC試験の実施.
2. ICC YokohamaでのIACの式典, 諸種プログラムなどの詳細の決定作業が進んでいる.
3. Executive Council 2016-2019がICC2016の終了とともに職務を開始する.

Acta Cytologica の投稿数増加・2017 年の IF 奪還, IAC 試験の実施, Tutorial の推進, Education material の充実など課題が多数. JSCC の会員の方々のご支援をお願いしたい.

〔審議事項〕

長村 IAC 連絡委員長より, 英語版の学会 web site で英語の一部修正と, 英語にて JSCC を検索した場合に英語版の web site に入れるよう設定して欲しいとの要望があった.

第 19 回 IAC 国際細胞学会準備委員会 (委員長 青木 大輔)

〔報告事項〕

1. 会議概要

共同主催：日本学術会議

HP： <http://www.cytologyjapan2016.com/>

Key Dates

Early bird registration deadline April 15th, 2016

Hotel reservation deadline April 28th, 2016

Late registration deadline May 19th, 2016

Opening of the Congress May 28th, 2016

第 57 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会) と同時開催

2. 参加登録について

事前参加登録数 (両学会共通) : 504 件 (3 月 9 日現在)

・Early bird 締切 : 4 月 15 日 (金) . . . 受付終了

・Late registration 締切 : 5 月 19 日 (木)

3. 参加費用について : 資料の如く参加費用を設定した.

4. 学術プログラムについて

一般演題応募数

ICC2016 : 378 題

第 57 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会) : 304 題

プログラム一覧 : 資料の如く学術プログラムを設定した.

市民公開講座

日時 : 5 月 28 日 (土) 16 時~18 時 30 分 (15 時 30 分開場)

会場 : パシフィコ横浜 メインホール

第一部 : 16:05~17:20 「経験者と乳がん・子宮頸がんの未来を考える」

キーノートスピーチ 井上苑子

モデレーター 宮城悦子, 三原じゅん子, 鈴木美穂, 藤森香衣,
難波美智代

第二部 : 17:40~18:25 「誕生日には検診を! ママと子どもの笑顔をまもるからの約束」

モデレーター 山本恵子, 戸澤晃子, 新井日南恵, 堀江敦子

甲田恵子, 奥田絵美, 安藤哲也

5. Business Meeting について

IAC Council Executive Meeting

日時: 5月28日(土) 10:00~16:00 (詳細は未定)

会場: パシフィコ横浜 会議センター 418

(以下, 日本臨床細胞学会関連)

理事会

日時: 5月27日(金) 15:30~18:30

会場: TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜ランドマークタワー 大会議室

(最寄駅: 桜木町駅)

総会

日時: 5月28日(土) 15:30~16:30

会場: パシフィコ横浜 国立大ホール

6. IAC 試験について

日程: 5月28日(土) 12:00~17:00 (予定)

会場: パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市) 会議センター 4階

7. 資格更新クレジットの取得について: 日本臨床細胞学会 細胞診専門医研修指定講座, 倫理委員会教育講演(日本臨床細胞学会, 日本産科婦人科学会 共通講習), 医療安全セミナー(日本臨床細胞学会, 日本産科婦人科学会 共通講習), 日本産科婦人科学会 専門医機構プログラムを設定した. 産婦人科専門医に関するプログラムは産科婦人科学会を通じて日本専門医機構へ申請した.

[審議事項]

特になし

泌尿器細胞診新報告様式解説書刊行ワーキンググループ (委員長 白石 泰三)

[事業報告・報告事項]

1. 本委員会の名称を「尿細胞診新報告様式解説書刊行ワーキンググループ」から「泌尿器細胞診新報告様式解説書刊行ワーキンググループ」に変更した.
2. 泌尿器細胞診の新報告様式の解説書は, 第57回日本臨床細胞学会学術集会で会員に配布予定である. 受け取れなかった会員のために, ホームページに掲載も予定している.
3. 解説書発刊について

[審議事項]

特になし

臨床試験ワーキンググループ (委員長 寺本 勝寛)

[事業報告・報告事項]

1. 「一般住民を対象とした子宮頸がん検診における液状化検体細胞診とHPV DNA 検査との併用法の有用性を評価する前向き無作為化比較研究(CITRUS study)」

(山梨県、千葉県柏市)

[進捗状況]

最終登録数は18,471例(山梨県12,192例, 柏市6,279例)であった。今後、追跡調査を継続する。

2. 「子宮頸癌疑い患者及び検診受診者を対象とした LC-1000 の有用性に関する臨床試験」
目的：要精密検査目的で来院した子宮頸癌疑い患者，及び検診受診者を対象とし，LC-1000(剥離細胞分析装置：一般医療機器 シスメックス社製)により算出された CPIx(Cell Proliferation Index)に基づく定性判定の有用性を，HPV 検査と比較することにより検証する. 中間報告会を 2016 年 2 月 20 日に行った.

[試験予定期間及び目標症例数]

- ・試験予定期間：2015 年 6 月～2017 年 3 月(終了予定)
- ・目標予定症例数：要精密検査対象者：約 450 例，検診受診者：約 480 例

[進捗状況]

- ・現在の進捗：要精密検査対象者：合計 476 例

[審議事項]

特になし

細胞診用語解説集作成ワーキンググループ (委員長 竹島 信宏)

[事業報告・報告事項]

1. 電子媒体での用語解説集の作成を目指している。
2. 用語解説の統一した原案の作成完了. 作成した細胞診用語解説集は, 学術委員会委員長の閲覧が完了したので, 理事へ 4 月 15 日(金)締め切りで閲覧を実施. その後にパブリックコメントを集めるため HP 上に掲載予定.

[審議事項]

特になし

細胞診専門医制度改革推進ワーキンググループ (委員長 植田 政嗣)

[事業報告・報告事項]

1. 細胞診専門医制度の今後の方向性について通信委員会等で討議
2. 日本専門医機構のヒアリング参加
3. 新しい細胞診専門医制度の運用面も含めて細胞診専門医あり方委員会, 細胞診専門医委員会, 施設認定制度委員会と協力して施行細則整備
4. 平成 28 年度教育研修指導医申請と認定作業
(これまでの経緯)

第1回審査会結果(2014年12月)・・・認定263名, 暫定113名

上記「暫定」の内, 2015年秋の細胞診専門医セミナーに参加し認定に移行した方77名

第2回審査会結果(2015年2月)・・・認定154名, 暫定98名

上記「暫定」の内, 2015年秋の細胞診専門医セミナーに参加し認定に移行した方50名

現時点では認定544名, 暫定84名

〔審議事項〕

特になし

肺がん学会とのワーキンググループ (委員長代理 池田 徳彦理事)

〔事業報告・報告事項〕

1. 喀痰細胞診に関する地域・施設・検鏡者による診断率の差に関する研究をしていく.
2. 標準的な細胞像のアトラスを作成しホームページ掲載の可能性を検討する.
3. 肺癌学会との共同で行った検討・研究が終了し, その成果を土屋眞一 細胞診専門医学会長のご高配により, 細胞診専門医会にて東北大学病院 遠藤千頭先生が報告する予定である.

〔審議事項〕

特になし

教育研修に関わるガイドライン検討ワーキンググループ (委員長代理 池田 徳彦理事)

〔事業報告・報告事項〕

1. 第57回日本臨床細胞学会総会(春期大会)中に第1回教育研修に関わるガイドライン検討ワーキンググループ会議を実施.
2. 基盤となる各種セミナーのテキストや研修手帳、細胞診ガイドラインなどの内容の符号性の改善の実施.

〔審議事項〕

特になし

9. 審議事項および議決結果

- 1) 平成27年度決算案について

中田会計士より資料に沿って平成27年度の決算案についての報告があり, 詳細に審議した結果, 全員異議なくこれを承認した.

- 2) 平成27年度事業報告案について

資料に沿って平成27年度の実業報告案についての説明があり, 詳細に審議した結果, 全員異議なくこれを承認した.

閉会の挨拶：紀川 純三 副理事長

以上を以って本理事会の議題が終了し、平成 28 年度第 1 回理事会を終了した。

平成 28 年 7 月 13 日

この議事録が正確であることを証します。

理事長 青木 大輔 

監事 長谷川 壽彦 

監事 長村 茂之 

監事 佐々木 寛 